



なぐじゅ

URL <http://www.nakago-e.jorne.ed.jp/>

『かしこい子
やさしい子
がんばる子』

上越市中郷区二本木704番地

TEL: 0255-74-2010

FAX: 0255-74-2482

はじめに、1月1日の能登半島地震により、お亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみを申し上げます。また、被災された皆様に心からお見舞いを申し上げますとともに、1日でも早い復旧などをお祈り申し上げます。

県・市内でも多くの被害がありましたが、中郷小学校は幸いにして大きな被害はなく、1月9日に予定通り3学期をスタートできました。子どもたちが、冬休みを無事に過ごせたことを本当に嬉しく思います。ご家族や地域の皆様には、様々な面から子どもたちを見守っていただき、ありがとうございました。

1月11日には降雪期の火災発生を想定しての避難訓練を行いました。普段からの防災教育の大切さを改めて感じる避難訓練ができました。

2024年が、子どもたちとご家族、地域の皆様にとって、幸多き年になるようお祈り申し上げます。職員一丸となり、子どもたちや中郷小学校にとって、より充実した年になるように励んでまいります。ご家族、地域の皆様には、中郷小学校の教育活動に対しまして、ますますのご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。



『自己有用感を高める』を合言葉に！

❖後期 学校評価(保護者・児童アンケート)より

日ごろより、当校の教育活動へのご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

2学期末に保護者の皆様から、中郷小学校の今年度の重点目標にかかわって、アンケートにご協力をいただきました。ありがとうございました。児童のアンケートとともに、その結果についてお知らせいたします。

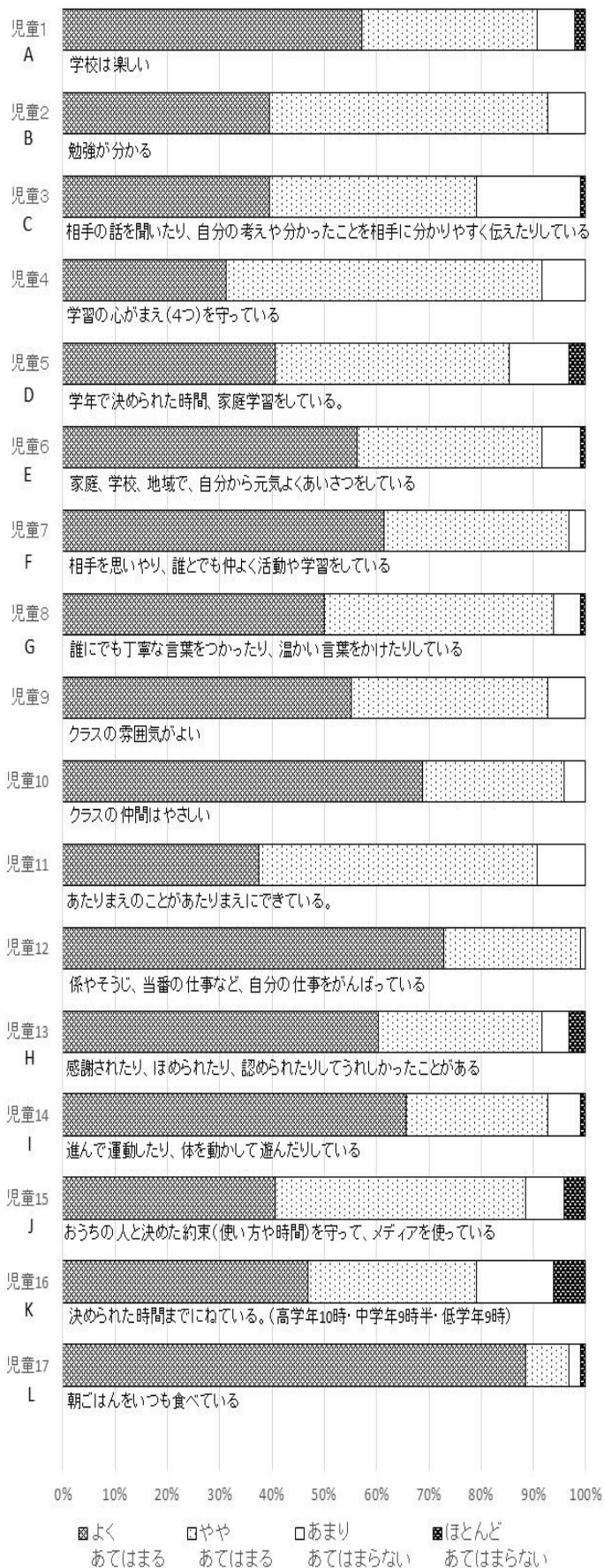
学校では、アンケート結果をもとに、2学期の教育活動の成果と課題、3学期や次年度の主な取組や改善策について、全職員で検討いたしました。また、小・中学校職員でも、それぞれのアンケート結果を共有し、自己有用感を高めることをテーマによりよく児童・生徒を育んでいけるよう話し合いを進めております。また、2学期から上越教育大学と連携をし、職員研修を進めてきました。今後も、子どもたちのために、確かな実践を積み重ねてまいります。

※ 結果では、児童、保護者の回答を以下のようにとらえ、考察しております。

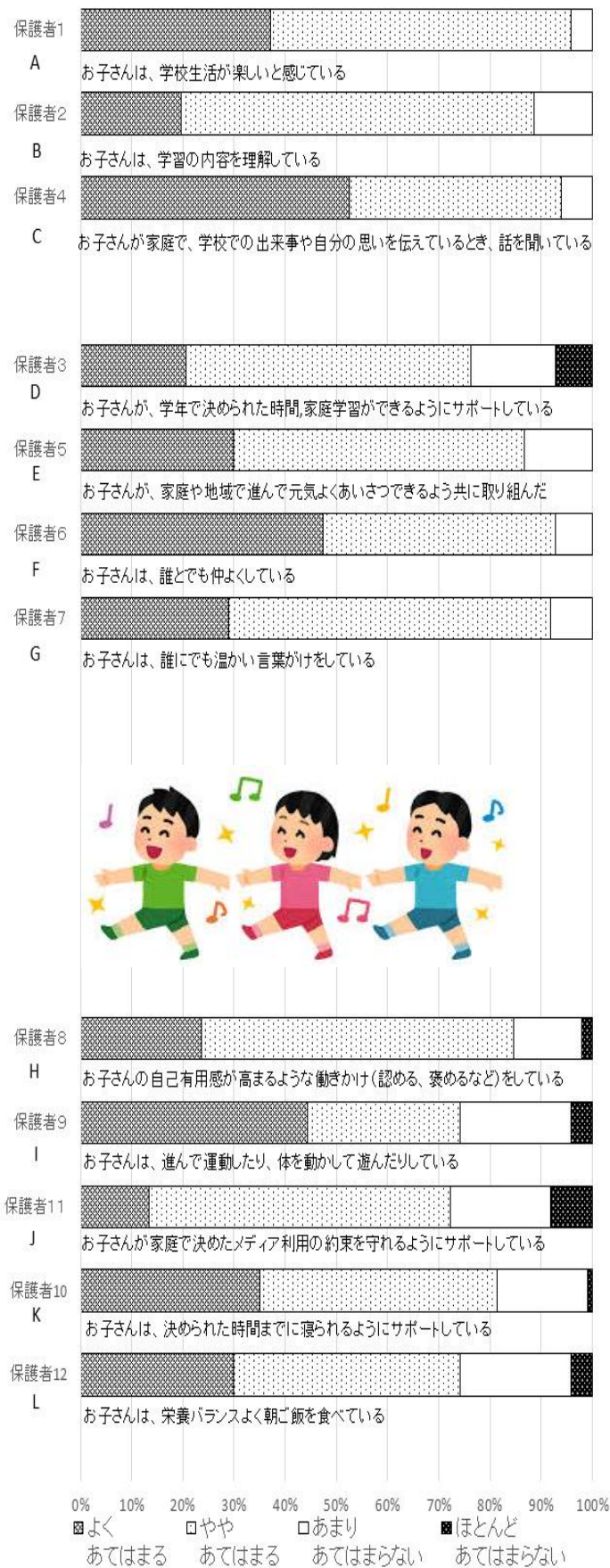
肯定的評価・・・よくあてはまる ややあてはまる の回答を合わせたもの

否定的評価・・・あまりあてはまらない あてはまらない の回答を合わせたもの

R5年後期 児童アンケート集計結果



R5年後期 保護者アンケート集計結果



～『確かな学力の育成』について～学力プロジェクトから～

1 基礎的、基本的な知識・技能について ○児童2、5 保護者2、3のアンケート結果より

◎成果

- ・学習内容の理解は、子どもや保護者の肯定的評価の割合が少し上がりました。子どもたちの頑張り、学習活動の工夫や実態把握、個別支援、家庭学習の成果があると考えます。

▲課題と3学期の主な取組や改善策

- ・学習内容の理解に心配がある子もあり、学力の定着や向上の面から考えると十分とは言えません。授業づくりと共に、実態把握とできる限りの支援を行っていきます。家庭学習時間や保護者のサポートの割合は少し下がりました。学力の定着に向けて、家庭学習は重要と考えます。時間だけではなく、内容を充実させて自主的に進められるように学年に応じて指導していきます。今後も、ご家庭での励ましやサポートのご協力をお願いします。

2 考えや学んだことを相手に分かりやすく伝える力について ○児童3、保護者4のアンケート結果より

◎成果

- ・全体では児童、保護者共に肯定的割合が若干下がりました。授業やクラス会議の活動を通して力が身に付くよう工夫してきましたが、十分ではないと考えます。子どもの聞く力、伝える力を伸ばすためにもご家庭では今後もお子さんとの会話を大切にしていきたいと思ひます。

▲課題と3学期の主な取組や改善策

- ・「聞き方・伝え方」について、授業やクラス会議を中心に指導を継続します。学校全体で取り組み、児童の意識を高めます。

～『豊かな心の育成』について～思いやり・社会性育成プロジェクトから～

1 仲間を大切にし、尊重する心について ○児童6～12 保護者5～7のアンケート結果より

◎成果

- ・児童、保護者共に肯定的評価が90%近くとなっています。子どもたちが仲間を大切にしながら心豊かに学校生活を送っていることがうかがえます。

▲課題と3学期の主な取組や改善策

- ・自己有用感を高める学級づくりを目指して、2学期に行ったクラス会議の要素を取り入れた活動を継続したり、子どもたち同士が関わり合う場を設けたりして、より一層仲間を大切にし尊重する心を育てていきます。

2 自己有用感について ○児童13 保護者8のアンケート結果より

◎成果

- ・児童、保護者共に肯定的評価の割合が高いです。今年度のテーマ「自己有用感を高める」を、学校、家庭、地域で意識高く取り組んでいる成果ととらえます。わかば班での清掃の振り返りのときに、班の仲間に温かい言葉を伝え合う活動を継続して行ったことで自己有用感がさらに高まりました。

▲課題と3学期の主な取組や改善策

- ・自己有用感が高まる言葉掛けを日常生活の中で多く取り入れていきます。わかば班での清掃の振り返りのときに、班の仲間に温かい言葉を伝え合う活動を継続して行います。担当職員がその言葉掛けに価値付けを行うことで、さらに認められ褒められたことを感じる事ができ、更なる自己有用感の高まりを目指します。
- ・あいさつ運動を「あいさつボランティア」を募り行います。友達に進んであいさつをする中で、他者から認められたり、役に立ったりする体験を通して、自己有用感を高めます。

～『健やかな体の育成』について～健康体力プロジェクトから～

1 自己コントロール能力 ○児童15～17 保護者10～12のアンケート結果より

◎成果

- ・朝ご飯の項目について、保護者の皆様にご協力をいただいたこと、栄養教諭を中心に栄養指導を行ったことで、児童の肯定的評価の割合が高いです。
- ・早寝の項目について、1学期に比べ児童の肯定的評価の割合が高いです。

▲課題と3学期の主な取組や改善策

- ・メディアの利用に関する項目で、他の項目と比べると肯定的割合が少なくなっています。今後も、チャレンジウィークの取組の充実や保健だより等での啓発を行っていきます。

2 基礎体力について ○児童14 保護者9のアンケート結果より

◎成果

- ・体を動かすことについて、児童の肯定的評価が高くなっています。学校では、休み時間に外や体育館で体を動かして遊ぶ児童が多く、また、チャレンジタイムにはランニングや縄跳びに取り組んでいます。

▲課題と3学期の主な取組や改善策

- ・今後も広大なグラウンドや体育館の設備を生かし、休み時間だけでなく授業においても進んで体を動かしたいと思えるように工夫をするとともに、その様子を家庭へも発信していきます。

子どもや保護者にとっての学校

○児童1・2 保護者1・2のアンケート結果より

多くの子どもが「学校が楽しい」と感じ、学習に意欲的に取り組み「勉強が分かる」と肯定的に捉えていることがうかがえました。また、保護者の皆様や地域の方々のおかげで、自己有用感も上がっていることも分かります。

▲児童15・16・17 保護者10・11・12のアンケート結果より

生活習慣の面では、特に「メディアとのかかわり方」「睡眠時間」については、まだまだ課題が残ることも分かりました。最近の研究では、「児童の睡眠時間は10時間必要」という結果もありました。生活習慣については、今後も保護者の皆様と協力しながら改善を目指していきます。

これからも、保護者の皆様や地域の協力をいただきながら、魅力ある教育活動を進めていきます。否定的評価についてもしっかりと受け止め、子ども一人一人に寄り添い、大切にしていきます。信頼していただける学校であるために、職員の研修を進めてまいります。

保護者の皆様のご意見について

【保護者の皆様から】

【ご意見を受けて】

学校評価の質問の回答に、「わからない」を追加して下さい。

肯定的にお考えか、そうでないかをはっきり把握していくために、中立的な回答をはずしてあります。次年度に向けて検討させていただきます。

登下校時、班で歩いていない子がいて車に轢かれそうで危ない。高学年が低学年を置いて先に行っている。何かしら対策をしてほしい。

地区児童会で話し合ったり、個別に班の子どもたちを集め指導したり、該当のご家庭に連絡させていただいたりしています。また、職員が登下校の様子を見に行くなどして対応をしてきました。根気強い継続した指導が必要と思っています。心配な様子があったときは、すぐに学校までご連絡ください。即時指導に努めてまいります。今後も、見守り等のご協力をよろしくお願いします。

登下校時、地域の家の敷地に入って座ったり花や木を構ってる子がいる。注意してもしばらくはやらなくなるがまたやっているため対策なり学校からも注意してほしい。

【保護者の皆様から】

【ご意見を受けて】

三年生の中で不登校気味なお友達が何人かいるようなので気になっています。



ご心配をおかけしています。複数の学年に、いろいろな理由で不登校傾向の児童がいますが、ご家族の方と話し合ったり、外部機関と連携したりしながら、よりよい支援ができるように取り組んでいます。

今後はこのような、電子メール方式が多く取り入れられて行くのでしょ
うから、扱い方を勉強しないと、つ
いていけなくなりそうですね。
「自分ができるのかな?」と、不安です。
この解答も、やっとやっと、携帯か
ら何とか対応出来ました。



社会全体の動向により、上越市でも新しいシステムが導入されることになり、ご家族の皆様にもご協力をいただいているところです。
新しいシステムの活用には、学校でも家庭でも慣れるまでにしばらくの時間がかかると思います。ご質問等、何なりと学校にお寄せください。
学校評価に関しましては、紙ベースで回答を希望の場合は、お知らせいただければアンケート用紙をお渡しいたします。

保護者を巻き込むような課題は出さないで下さい。迷惑です。



お忙しい中、子どもの学習にご協力くださっていることに感謝いたします。ご家族に学習の様子を知っていただくことや、子どもたちの調べたりまとめたりする力を高める学習の一環として、ご協力をお願いする課題があります。
例えば、社会科の買い物調べや、生活科の誕生から小学生までの成長調べ等、家族とコミュニケーションをとりながら調べること、意欲が高まったり興味深く調べたりすることができます。また、学年の発達段階に応じて、音読を聞くことや課題の丸付け等のお願いをさせていただいています。今後も可能な範囲でご協力をお願いいたします。

家庭での学習に支障をきたすほどの宿題を出すのは止めて下さい。



宿題の量は、学年の発達段階を考慮し、家庭学習に取り組んでほしい目安時間（低学年30分、中学年45分、高学年60分）の半分くらいの時間でできる内容を考えています。宿題に必要な時間は、個人差がありますが、クラス全体の様子を見ながら宿題の量を決めています。
例えば、高学年で、算数プリントの宿題に25分間かかったとしたら、家庭学習の目安時間までの35分間くらいを自主学習として取り組むことを推奨しています。自主学習の内容は、学級で例を示していますが、自分で取り組みたい学習や家族と考えた学習等、どのような学習でも構いません。
また、家庭学習時間は、習い事や家庭の都合で、時間的に難しいこともあると思います。無理のないように、ご相談いただきたいと思います。

毎日、12冊ほどの教科書、ノート、ドリルを持ち帰らせる状況、重量物を持ち帰らせる状況を異常だと思わない学校に理解が苦しむ。



これまでも、持ち帰りを少なくするために「置き勉」を活用し、基本は国語・算数関係のみを持ち帰っていることを説明させていただいていました。
今回のご意見を受け、低学年は、発達段階上、これまでのように持ち帰る物を担任が指示しますが、中・高学年については、本日から「自分で選択して、その日の家庭学習等で必要な物だけを持ち帰る」ことにしました。自身の学習や生活をマネジメントする力にもつながると考えます。この方法に慣れるまでの間、声掛け等にご協力ください。



2月の行事予定

- 1 日 (木) 全校集会
ALT来校
- 2 日 (金) 課外活動
- 6 日 (火) 委員会活動
- 7 日 (水) フッ化物洗口
児童会代表委員会
チャレンジなわとび
学校司書来校
学習情報指導員来校
課外活動
PTA企画委員会18:00～
- 8 日 (木) ALT来校
スクールカウンセラー来校 (午前)
第3回さとまる学園コミュニティ・スクール委員会 (5限学習参観～)
- 9 日 (金) 移行学級
学校訪問カウンセラー来校 (午後)
課外活動
- 13 日 (火) チャレンジウィーク (～16日)
6年：中郷中学校入学説明会
チャレンジなわとび
- 14 日 (水) フッ化物洗口
学習情報指導員来校
信越学童親善スキー大会壮行会・音楽集会 (3・4・5年) 3限
課外活動 (信越学童親善スキー大会参加者：現地練習)
- 15 日 (木) ALT来校
- 16 日 (金) 信越学童親善スキー大会 (赤倉観光リゾートクロスカントリーコース)
- 21 日 (水) フッ化物洗口
チャレンジなわとび
学校司書来校
学習情報指導員来校 (午前)
- 22 日 (木) わかば班遊び
- 26 日 (月) 校内版画展 (～3月1日)
スキー搬出 (～3月1日)
- 27 日 (火) 委員会活動
- 28 日 (水) フッ化物洗口
チャレンジなわとび
- 29 日 (木) ALT来校
スクールカウンセラー来校 (午前)

